



# 東海中新聞

No. 366

令和3年12月号

体育大会に向けて、今年も体育委員会がランニングタイムを提案しました。生徒は自分のペースで走っていました。思わずこんな笑顔に…楽しみながらランニング。

## 得意を磨く？ 苦手を克服？

校長 今枝武司

ソフトボール部を担当していた頃、こんなことで悩むことがありました。

『バッティングは得意だけど守備が苦手なAさんと、守備はうまいけどバッティングが苦手なBさんのどちらをレギュラーにしようか』ということでした。

いつも、自分の苦手な分野を克服するように助言していましたが、発想を変えて、Aさんには今まで以上にバッティング練習を、Bさんには来る日も来る日も守備練習をさせました。するとどうでしょう。得意分野が数段進歩し、二人ともレギュラーになりました。これは、二人とも苦手分野が気にならなくなるほど、得意分野を徹底的に磨き進歩させたからです。

あなたはどっちですか？得意を磨きますか？苦手を克服しますか？

USJや丸亀製麺を劇的V字回復させた、株式会社「刀」代表取締役社長森岡毅さんはテレビの対談の中で、『弱み(苦手)が強み(得意)になる』と見たことがない。せいぜい平均レベル。成果や結果などのプラスの影響は、その人の強み(得意)からしか出てこ

ない。会社はその人の強み(得意)に給料を払うのです( )は校長が付けたと話されていました。

これは、苦手なことを一生懸命頑張っても平均レベルまでしかいけないことが多いこと。それよりも得意なことを突き抜けるくらい頑張ることの方が自分にとってはプラスになることが多いという意味です。

自分の強みを突き抜けるくらいやり抜いたと言えば、昨年のM1チャンピオンのマジカルブリーが思い出されます。自分たちの強みはバカバカしさだと、とことんやり抜きます。時には「あれが漫才か」と審査員に酷評され、決勝でも最下位に沈みます。それでも自分たちのバカバカしさを磨きに磨いて、酷評した審査員に『バカバカしさが突き抜けるっていうのはもう芸術』とまで言われ、王者に輝きました。まさに強みを磨きぬいての栄冠でした。

私たちは「苦手を改善すること」ができれば、失敗することも減るし、精神的に落ち込むことも少なくなると思います、苦手の克服に努力することも多いでしょう。もちろん、苦手をきちんと理解し、挑戦することは大切なことです。

でも、周りを見てみると、大仕事をやってのけた人たちは、得意を磨いて突き抜けた人たちが多くいます。「得意を伸ばすことに重点を置く」といったスタンス。あなたはどうか？



# PTA おやぶの会合同もちつき大会

受験を控える三年生を激励する目的でPTAとおやぶの会が合同で「もちつき大会」を開いてくださいました。コロナ禍で昨年は実施を見送り、二年ぶりのもちつきとなりました。十二月五日の当日は、生徒約百二十名、PTA役員、理事、おやぶの会の方々、さらにOBの方々を含めて百六十人以上の方が集まりました。「よいしょ」のかけ声がこだまし、中庭は熱気にあふれていました。

## 三年二組

僕たちが学校につくと、もう、数人のPTAの方々もちつきを始めました。スムーズに行えるように、しっかりとセッティングされていて、早くから準備をしてくださっていたことが分かりました。でも、本当に驚いたのはその後です。中庭から被服室に向かう途中、調理室から話し声と物音が聞こえてきました。それもちかなり大人数です。別のクラスの子たちかなと思って見ると、皆エプロンをしていました。自分たちのために、これだけ多くの方が時間を割いてくださっていることに、そこでやっと気づきました。このこと忘れずに、あと三か月、頑張りたい

と思います。



## 三年三組

実際に、もち米からもちつきをしたのは初めてだったので、すごく楽しかったです。また、自分たちでついたもちはいつもおいしく、温かい気持ちになりました。一番おいしかった味は大根おろしです。あまりこの組み合わせは食べたことがなかったので新鮮でした。また、大根の葉も一緒に食べるとすごくおいしくて驚きました。私たちのために寒中、用意してくださった方々、本当にありがとうございます。受験勉強頑張ります。

僕はもちつき大会に参加しました。

## 三年四組

もちつき大会はコロナウイルスによって二年ぶりの開催でした。朝学校について中庭を見ると、役員の方が準備をしてくれていました。時間になり移動すると、役員の方々が「おはようございます」と笑顔で挨拶してくださいました。僕には「いいもちつきになりそうだな」と思いました。その後、僕は少くためにきねを持ちました。初めは少し重たく感じたけど「いけいけ」や「がんばれ」という声に励まされたおかげで気持ちよくなることができました。食べる場所に移動すると、五種類の味が用意されていました。どのもちも、とても食べごたえがあり、おいしかったです。来年もこの行事が続いて行ってほしいと思いました。



「寄付をいただきました。」

海苔……

大根……

もち米……

様 (竜泉寺町)

様 (山綱町)

様 (本宿町)

ありがとうございます。

# 東中学区A to Z

今年もむらさきかん主催の「まち育てスクール」の一環で、学区の素敵な場所をアルファベットのAからZに当てはめて写真を撮り、冊子を作成する活動が行われ、本校生徒六名がボランティアとして参加しました。

## 地域の魅力を「A to Z」で

地域の名刺「東海中学校A to Z」作成ボランティアへの参加は、二回目でした。このボランティアの主な活動内容は「学区の魅力」を伝えることです。そのために、参加したことと、より地域の魅力やお薦めスポットなどを知ることができました。活動の中で、特にアルファベットをAからZにそろえる作業では、他に参加した人とも交流しながら楽しく、きれいにそろえることができました。

地域の名刺「東海中学校A to Z」は昨年同様、冊子になるそうなので完成された冊子を見られるのが楽しみです。



# ハーモニー参加

## 岡崎のハーモニーに出演して

### 三年二組

毎年、各学校の代表が一緒になって歌う「岡崎のハーモニー」。今年もコロナ禍であったため、東海中からは三人だけしか出演できませんでした。男声は自分だけで、練習では、声が上手に出せなかったり、音程を間違えてしまったりと、正直、不安な部分もありました。

迎えた本番当日、事前練習では、他校の生徒の声は迫力があって、潰されそうになりましたが、本番では精一杯の歌声で歌うことができました。無観客開催でしたが、そこにいる先生や関係者の方々に歌を伝えることができてよかったです。



ハーモニーで

### 三年三組

「三年生になったらね」と一年生の時に言われた言葉が忘れられず、今年立候補しました。募集人数はたったの三人。それを聞いた時、とても驚きました。三人となるとソプラノ・

アルト・テノールと分かれる関係で二人で一つのパートを担当することになり、とても不安でした。こんな人数でやったことはありません。しかも、練習時間が短く、本番までドキドキしながら時間を過ごしました。そして、初対面からの本番。ピアノの音が聞こえた瞬間世界が変わったように感じました。後ろから音がヴァーンと響いて、歌っている時とても楽しく感じました。歌はやっぱり楽しいなと思いました。

## 夢の舞台で

### 三年四組

ホールに響く声。周りから聞こえる名前も知らない人の声です。前にも見たことのあるホールで歌えた事がとてもうれしかったです。コロナウイルスの影響で歌えるかすら危うかったのが、歌えてよかったです。参加人数が少ないなど最高の状態とは言えないハーモニーだったけど、そんなつぎはぎな状態だったからこそ、きれいな歌を歌えました。

## 後悔がないかと言

うと、ないとは言いませんが、とてもいい経験ができたと思います。きつとこのような経験はもう二度と経験できないと思うので、次に生かしていきたいです。



# 福祉実践教室

## 多様性を認め合う【手話体験】

### 一年四組

僕たち一年生は福祉実践教室を行いました。その中で僕は、手話の体験をしました。手話を使う人は耳が聞こえません。つまり声を発するのが難しいのです。たくさん話していただいた中でも驚いたことがあります。それは、「手話にも方言がある」ということです。「水」という手話にも川の水をイメージするものや飲む水をイメージするものがあり、その地域によって違いがあるのです。

この福祉実践教室で障がいをもっている人は不幸な人だという考えではなく、障がいも一つの個性だと考えて、認め合っていくことが大切だと感じました。



## 最強のパートナー【盲導犬体験】

### 一年三組

私は、盲導犬のビオラと一緒に生活している。さんに話を聞きました。訓練を受けた中の十頭のうち四〜五頭しか盲導犬になれないと聞いて厳しい世界だと思いました。



字の特徴などがよく分かりました。驚いたのは六つの点を組み合わせて左から読むことです。今後はこの体験を生かして点字を読んでいきたいです。

さんが初めてビオラを預かった時に「犬に尽くしてください」と言われたそうです。さんは犬に尽くせば、その分を返してくれると考えていました。私はそうやってこの二人は助け合っている最強のパートナーなんだと思いました。さんはビオラとの生活の中でいろいろ工夫していると聞いて、その行動力や努力をされていることにとっても尊敬しました。この貴重な経験を生かして、岡特交流を成功させたいです。

## 体験してみても【点字体験】

### 一年一組

僕は点字について勉強しました。点字は目の不自由な人が使うもので、今では高校の試験や選挙にも使われていることがわかりました。僕は身の回りで点字を見ますが、どうやって読むのか、どうやって書くのかわかりませんでした。

しかし、講師の方の話を聞いて、点



# 体育大会

※十二月十六日に行われた体育大会マラソンの部の個人成績です。終了後、PTAのみなさんが作ってくださった豚汁をいただきました。



## ※体育大会団体成績

一年男子の部	三組	二年男子の部	二組	三年男子の部	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組
一年女子の部	三組	二年女子の部	二組	三年女子の部	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組
一年男子の部	三組	二年男子の部	二組	三年男子の部	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組
一年女子の部	三組	二年女子の部	二組	三年女子の部	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組	男女総合優勝	二組	女子優勝	二組

## プレッシャー

### 三年三組

「は今年も一位だよな」と、みんなが自分にそう話しかけてくれる。でも、そんな声が自分のプレッシャーになった。女子のマラソンの部が終わり、男子の部のスタート時間に近づくと、プレッシャーだけでなく、緊張感も心をおかしくして何も考えられなくなった。スタートのピストルが撃たれた途端、プレッシ



ヤーなどがすべてどこかへいった。結果は一位を取ることができて、とてもうれしかったし、期待にも応えることができてよかった。来年は中学校でのマラソン大会には参加できないけど、またどこかで、このようなプレッシャーの中で走れたらいいと思う。

# 表彰記録

## 第六十五回愛知県

統計グラフィコンクール

銀賞 (統計協会長賞)

「携帯電話と勉強」

「学校行事に対して

どう思ってる?」

「どうなってる?」

少子高齢化」

第三回中学生新人陸上競技大会

第二位 一〇〇mH

第五位 一〇〇m

NEXCO中日本主催

第十四回風景フォトコンテスト

あなたのとっておき風景部門

特別賞

情報科学部

# やまなみ

教育随想

がんばり賞

校務主任補佐

朝、七時半すぎ。職員室ベランダから運動場を眺める。ランニングタイムで運動場を走る生徒、声をかける先生。温かい空気を感ずる。毎年、この光景を見ながら思い出すことがある。小学校六年生のマラソン大会。「きつい・苦しい・つらい」私のイメージするマラソンである。小規模校である私の学校は、五・六年女子約三十人が一緒に走る。当然、六年生がビリになることもある。それだけは、避けたかったが、苦しい。歩きたい。ゴール直前、母の声援が聞こえた。朝、母に宣言した「最後まで走る」という約束だけは守ろうと決めた。結果は、最下位から二番目。妹は一位であった。帰宅すると机の上に「がんばり賞」と書いてある紙とお菓子が置いてあった。妹の机の上も同様であった。大人になり、結果や数字で物事を判断してしまふことがある。しかし過程を見取することを忘れてはいけない。休日の知多半島。息子の大学駅伝大会当日。無観客のため、近くの駐車場内でネット速報を聞きながら心で祈る。願いはただ一つ。「最後まで走り切って、襷をつないでほしい」と。